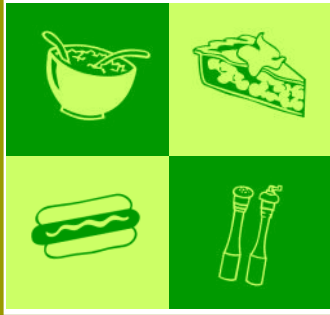


ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

09.11何
 か用かと
 近寄るキ
 ン太。



1 冬野菜に危機!!

種蒔き苗植えなどはカカの仕事、トトは管理機などで耕すのが仕事。カカは毎日、農事カレンダーに記録し、種蒔き苗作りのタイミングを計り、肥料管理なども行う、トトは微力ですがカカ仕事でサポートをしています。冬野菜への切り替え時期ですが、種の発芽が思わしくありません。



鉛筆の芯先ほどの玉ネギの種を蒔く。

09.14↑乾燥保存をする豆は、花が咲いた時と豆サヤの出来始めた今、殺虫剤を散布した。①自家製味噌を作る曙大豆。②餡にする大納言小豆、虫に食べられた豆サヤがある。③煮豆と味噌作りに使う丹波黒豆。自家用に少し育てています。



08.31玉ネギ4種類の種と、長ネギの種を蒔く。



肥料を施した畝に筋目をつけて、指先から落とすように玉ネギの種を蒔き、軽く土を戻し軽く押す。



09.14発芽した長ネギ、残念ですが発芽は数本だけで大失敗、玉ネギも同様で再度種蒔きをしなくては!!と焦っています。



乾燥した長ネギのネギ坊主を揉んで種採りし ←長ネギの種も蒔き終えた。



08.31青首大根の種を一力所に3粒づつ蒔く。



08.31青首大根4畝に紅芯大根と赤大根1畝づつに、種を蒔いた。今年から沢庵漬は作らず、種蒔く畝数も少なくなりました。



↑大根三種の発芽も悪く
 ①左から4畝は青首大根
 ②隣の1畝は紅芯大根
 →右端は赤大根でほとんど発芽していない。



目次

- 1 冬野菜に危機!! /
- 2 苗を植え種は蒔き直す /
- 3 九月のお味 2

ハイライト

秋分・初候9月23～27日「雷乃収声かみなりこえをおさむ」雷が鳴り響かなくなる頃という意味で、春分時期の「雷乃発声」と対の関係にある。雷が鳴り始めるのは「雷乃発声」の頃で、夏場に猛威をふるったのち、この頃になってようやく聞こえなくなる。ゆえに「雷」は夏の



09.12遊んでとパソコン操作中に近寄るハナ

季語とされるのだが、その光である「稲妻」は秋の季語とされる。これは稲穂が雷光に反応して実ると考えられていたこと、すなわち両者の関係が夫婦に見立てられたことにより、「イネの夫つま」ということで稲妻の名になった。古くは男女に関係なく夫も妻も「つま」と呼ばれていた。

静岡県に記録的大雨!! をもたらした先日の台風15号、明野では豪雨の夜中? 雷鳴が轟!! 猫が驚いていました。

2 苗を植え種は蒔き直す

種の発芽や苗の根づく条件は微妙で時期と天候、土作りに種蒔き苗植えの深さなど色々「大根の種蒔く時期は八月下旬の雨後」などと農家から聞いてはいるが、これは明野の標高差が大きくかかわっています。今年力力の種蒔きでは、大根類に玉ネギと長ネギなどが発芽せず、蒔き直しをしました。畑仕事は奥が深くて難しく・・・



↑09.12手前左は白菜、右はサニーレタスの苗。



↑09.14サニーレタス苗を畑に移植し→日除けの寒冷紗をかける。右側のマルチ畝にはキャベツ苗を植える予定です。



→09.21畝全体にサニーレタス苗を移植した。→キャベツ苗の移植時期は未定。



↑09.14左側のトンネル畝9月1日に種蒔きをしたターサイにチンゲン菜と大葉春菊やホウレン草が発芽、一畝に混栽する少量多品種栽培。→右側のトンネル畝には白菜苗を移植



↑09.12白菜苗を移植



↑09.21ブロッコリー苗を移植中のカカ



↑09.21育った白菜とサニーレタス苗を畑へ一輪車で運び植えた。



↑09.21蒔き直した大根3種も発芽した。大きいモノは1回目



↑09.21保存用の赤玉ネギと甘い玉ネギに保存用玉ネギ種をトトが蒔き直した→



晴大豆畝で作業中のカカ

3 九月のお味



↑09.19カカ裏の林で栗拾い。腰に蚊取り線香



↑栗を水洗いして、虫食いや落葉を取り除く



室内で乾かす、大粒で良い栗は渋皮煮用に選び冷蔵保存。



↑カカの「ゴロゴロ栗ご飯」が炊けました!!



↑栗を崩さぬように、優しく混ぜ合わせる。



↑ホックリ栗の食感と甘味がオイシイ秋の味。



↑渋皮煮コトコト煮込んで崩さぬように、



↑栗の風味もあり、ほど良い甘味と柔らかさ、



↑「栗の渋皮煮」ブランド入りと無いモノも有ります。



←カカト向かい合い、トトがクリクリ坊主で渋皮煮用に鬼皮剥き、←渋皮を傷つけたら、カカが包丁で渋皮を剥いて栗ご飯用にする。



↑栗ご飯用

↓渋皮煮用

↓クリクリ坊主



↓渋皮煮のシロップを活用して、渋皮煮のゼリー寄せを作る。お八つや食後のデザートおいしいヨ

今年はわが家の栗は豊作んで、畑と林の栗の収穫時期もずれ、長い間楽しめています。栗ご飯は美味しくても、栗剥き作業はカカだけに任せていることが多く、あまり栗が落ちないようにトトは念じています。